

長野県林業総合センタ - 塩尻市片丘 5739  
 Nagano-prefectural Forestry Research Center  
 TEL 0263-52-0600 FAX 0263-51-1311

## 緑のアジサイがありませんか？

キーワード:アジサイ、緑色、ファイトプラズマ、

梅雨の時期を彩る花として知られるアジサイ。赤や青のかわいい花が、梅雨に華やかな彩りを与えてくれますが、最近、緑色の花びら（萼）を付けて、その後徐々に衰弱して場合によっては枯れてしまう「アジサイ葉化病」という病気が話題になっています。

アジサイ葉化病とは

「緑色のアジサイ」は、2010年の夏、県内複数箇所を確認されました（写真）。「緑色のアジサイ」は、園芸用として珍重されることもありましたが、平成8年に栃木県、静岡県、大分県で見つかった「緑色のアジサイ類」が調査される中で、これらがファイトプラズマという特殊な細菌による病気にかかっていることが確認されました。この病気は、「アジサイ葉化病」と名付けられ、その後も平成19年7月に神奈川県で見つかり、注意が促されています。

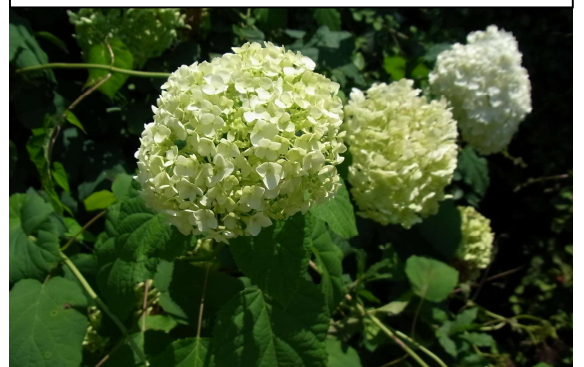
<http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/kankyo/2007/ajisaiyouka200711.htm>

今回、県内で確認された複数のアジサイについて、初めての事例でしたので、（独）森林総合研究所森林微生物研究領域森林病理研究室へ送付してDNAレベルでの鑑定をお願いしたところ、当所から送付したすべてのアジサイからファイトプラズマが検出されたとの報告を受けました。

この夏に育林部職員がみかけただけでも10数箇所緑色のアジサイが見つかっています。



2010/7/22 ヤマアジサイ



2010/7/26 ガクアジサイ

どうすればいいのか

ファイトプラズマは、植物の細胞内でないと増殖できない特殊な細菌で、一度感染してしまうと樹体全体に細菌が広がって治癒することができない病気です。しかし、この病気は、感染してもすぐに枯れずに、徐々に衰弱して枯損に至るため、気づかないうちに被害が進行していることがあるようです。

また、ファイトプラズマは、樹液などにも含まれるため、これまで知られている他のファイトプラズマによる病気では、ヨコバイなど吸汁性害虫が樹液などを吸汁することでファイトプラズマを体内に保菌して運び、別の個体に媒介していることが知られています。「アジサイ葉化病」では、まだ媒介昆虫がみつかりませんが、病気にかかった株があると、媒介昆虫によって周辺のアジサイにも病気が拡大してしまうことが考えられます。

そのため、「緑色のアジサイ」を見かけたら、除去していただくことが賢明です。「緑色のアジサイ」を切ったハサミには、ファイトプラズマがいる樹液がついたままになり、そのまま使うと、病気を感染させてしまう危険性が高いので、使ったハサミは、きれいに洗ってアルコールなどで除菌してから他のアジサイに使用するようになさってください。

担当者 育林部 岡田充弘